

# 芝山町議選必勝の3・25大結集で二期阻止へ

## 三里塚芝山連合空港反対同盟が旗びらき



一月八日、三里塚芝山連合空港反対同盟の八四年団結旗開きが紺碧の空のもと、幾多の激戦を闘い抜きその砦となってきた 岩山記念館 で開催され、一九九一年目を迎えた三里塚反対同盟を軸に、全国の支援勢力三七〇名が結集し、共に闘い抜いてきた者同士のみがもつ勝利感を共に確認し、和気合々の内にも、八四年こそ、切迫した三里塚決戦を、満々とした闘争にのぞむ決意を秘め、圧倒的成功をかちとった。

八四年は、決戦の年だ！！

開会予定の午前十時を前後して、続々と結集する 全国津々浦々で 「三里塚を基軸に」闘い抜いている各地区、各界、労組の代表。出合う人々が、それぞれ「本年も共にがんばりましょう」とあいさつをかわし、西は関西の代表、東は東北の代表の顔もみえる。会場の岩山記念館 はすでに二階、三階を埋めつくし、それでも溢れる人達のために、内も外もスピーカーを取り付け、結集したすべての人達全体のものとした。

さらに、この岩山記念館 は、八三年「三・八」をもって十八年間の三里塚闘争から脱落し、今日ますます腐敗堕落し、敵対してきているいわゆる脱落派が十一月二日ついに、闘いの砦としてある岩山記念館を自ら破壊のため襲撃をかけるという、断じて許せぬ暴挙をおこなった 場所でもある。

会場内は、十九年目を迎え、これまで幾多の試練と、政府・公団・権力のすさまじい攻撃にも常に原則を守り抜き、闘い勝利しぬき、とりわけ、八三年は、十八年間でも最大といえる、脱落派の同盟破壊攻撃に真向から対決し、粉碎した、自らの闘いに、大いなる自信と確信に満ちた、意気軒昂とした顔で、北原事務局長を先頭に、反対同盟農民の人達を中心に、万全の準備がととのっていた。

午前十時二〇分、萩原進（事務局次長）さんの力強い開会宣言ではじまった。つづいて北原事務局長の基調報告がなされ、そののち、敷地内代表 小川嘉吉さん、島村良助さん、婦行隊長 郡司とめさんとつづき、とくに庄巻だったのは、八四年二期決戦の突破口として、二月芝山町議選を闘いぬく 同盟唯一の候補 鈴木幸司さんの「生涯を賭けた闘いと位置づけて何んとしても勝利する」との決意表明であった。つぎに、この選挙闘争の委員長平山さん、三里塚野菜産直の会代表 萩原勇一さん、等々それぞれ八四年に賭ける決意表明のあと、連帯のあいさつのトップに、動労千葉の中野委員長が起ち、烈々たる「労農連帯で闘う」

決意を表明した。順次、関川前委員長、中江顧問とあいさつに起ち、全関西代表 山本さん、東実を代表して 長谷川さん、石田さんがそれぞれあいさつを行った。

新たな決意をこめて鏡開き

つづいて、恒例の団結鏡開きが行われ、反対同盟と連帯する各界層の代表が、同時に樽を開くという、まさに、三里塚闘争の壮大な 陣形と闘いにふさわしい、極めてめずらしいものであった。開かれた、闘魂の美酒を全参加者がくみかわし、宮本さんの乾杯の音頭で、旗開きは、最高潮に達した。その後、各地区、学生、各住民の代表の連帯と決意表明が、ひきも切らず続き、圧倒的成功をおさめた。動労千葉は、連帯のあいさつに起った 中野委員長をはじめ、関川さん、中江さん、各支部を代表して成田支部 日暮支部長など総勢十三名が代表参加した。

なお、それぞれの決意表明と連帯のあいさつの内容については、次号に掲載します。



公団の手先=脱落派を粉碎・一掃し、3・25空前の大結集で、二期着工を完全粉碎しよう！  
岩山記念館には闘う熱気がうずまいた。(1月8日)

日刊  
動労千葉

84. 1. 10

No. 1535

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五〇六・（公衆）〇四七二二二七二〇七

